

第87回生命科学先端研究支援ユニット 学術セミナー

日時：平成27年4月28日（火）午後5時から

場所：杉谷キャンパス 附属病院2階 臨床講義室(1)

講師：小川数馬 先生（金沢大学医薬保健研究域薬学系・准教授）

演題：「癌の診断・治療を目的とした放射性薬剤の
開発研究」

内容

骨シンチグラフィは、X線などの形態診断で感知できる前の段階で骨の機能変化を感知し、転移性骨腫瘍の診断が可能となる。一方、骨指向性の治療用核種標識化合物は、転移性骨腫瘍の疼痛緩和薬剤として使用されている。つまり、転移性骨腫瘍の診断や治療に放射性薬剤を用いた核医学診断・治療の有用性は非常に高い。本講演では、転移性骨腫瘍に対して、現在臨床で用いられている診断・治療薬について概説し、演者が行ってきた放射性薬剤の開発研究について述べる。

※本セミナーは大学院医学薬学教育部の単位認定の対象に、またユニットの放射線業務従事者に対する教育訓練（再教育）の対象となります。多数の教職員・学生の来聴を歓迎します。

◎問い合わせ先

櫻井宏明（大学院医学薬学研究部（薬学）・教授）

電話：076-434-7520

メール：hsakurai@pha.u-toyama.ac.jp



富山大学 研究推進機構 研究推進総合支援センター
生命科学先端研究支援ユニット